

アンケート回答まとめ

Q 1 本日の図上訓練に参加して自社での一斉帰宅抑制・施設内待機の取組の推進に活かせると思われたことはありましたか。

はい : 54 いいえ : 0 どちらともいえない : 7 無回答 : 0 (N=61)

「はい」→どのように活かそうですか

●一斉帰宅抑制やそのための対策の必要性、行うべき対策への理解促進

- ・帰宅抑制は考えていなかったなので帰宅抑制の必要性がわかった。
- ・施設内待機の徹底
- ・事前準備、備えの重要性を改めて学んだ。
- ・想定しておくべきこと
- ・企業内の事前対策などの検討
- ・今後の対策、計画
- ・事前準備事項の再確認
- ・イメージがふくらみ、行うべき対策が確認できた。
- ・発災時に考えなければならないことをイメージできた。
- ・想定による対応がわかりやすい。
- ・帰宅困難者対策のイメージがより具体化できた。
- ・経験の大切さを痛感した。
- ・想定していない内容があり検討したい。
- ・災害時、ビル管理会社は対応に追われ、なかなか対応してもらえないと思うので、自分たちでいかに対応していけるか考えさせられた。

●施設内待機のために必要なこと

一方針づくり

- ・タイムスケジュールの組立
- ・地震発生時の順序がある程度図れる。
- ・発災時の時間差別のマニュアルの検討
- ・社内のマニュアル、ルールづくり
- ・必要な項目が多々あることに気づいた。
- ・事前にある程度のルールを決めておく（方針を決めておく）こと
- ・あらかじめ基準を決めておく必要がある。マニュアル改定の際に活かしたい。
- ・帰宅者へのルールづくり
- ・外出社員、出張中社員への対応、指示内容
- ・計画的な休憩のとり方、場所

一体制づくり

- ・事前の役割分担、体制づくりの重要性が実感できた。
- ・連絡方法を数種類準備
- ・従業員への安否確認がまず第一に重要だと感じた。

一施設の使い方

- ・事前のイメージ（事務所内の使い方等）
- ・スペースの用途、使用方法の事前検討
- ・建物内での滞在の仕方、エリア区分など

- ・施設内のレイアウト、有効活用
- ・事務所内をどの様にレイアウトして非常時に使用するか
- ・レイアウト等の変更や活用方法は検討の余地があると感じた。

一 備蓄品

- ・備蓄品内容の精査
- ・備蓄品の管理
- ・備蓄品の再確認
- ・災害用トイレの設置についての検討

● 周知・啓発

- ・むやみに移動することの危険性をスタッフに理解させる。
- ・一斉帰宅抑制の理由を知らせる。
- ・方針等の共有の重要性

● 訓練の実施

- ・日ごろからの訓練の必要性を確認できた。
- ・何らかの形でワーク内容を活用したい。
- ・図上訓練は実施したことがないので、考えてみたい。
- ・KUGの実施
- ・同様の訓練を取り入れたい。
- ・営業所内での実践、入居者等への共有、展開
- ・訓練行っているなので、その際の参考となる。
- ・訓練を通じて準備している。
- ・訓練全般の内容
- ・区と地域のみならず、企業も交えた災害時の訓練があっても良いと感じた。

● 各事業所等での対応等の理解促進、その他

- ・事業所の対応、一時滞在施設での対応が少しわかった。
- ・いろいろな企業の方の意見が聞けて参考になった。良かった。
- ・施設管理会社の方の意見が参考になった。
- ・参加者それぞれの考え方が多様であり、参考になるものもあれば、賛成できない意見もあり、良いところを取り入れていきたい。
- ・地域の話し合いに活用
- ・社会でも具体的な手順を確立する必要があると感じた。
- ・一斉帰宅は困難であるため、地域での対策も必要

「どちらともいえない」→理由をお聞かせください

- ・多くの利用客がある業種のため、設定とは少し乖離があった。
- ・多くの利用客があり、対応マニュアルに基づき実施している。
- ・鉄道会社であり、復旧に尽力しなければならない。
- ・会社ではない。
- ・自社に想定される図上訓練を作成するには時間を要する。

Q 2 自社での KUG の実施や一斉帰宅抑制・施設内待機の実施で工夫されていることなどがありますか。

はい : 22 いいえ : 34 無回答 : 5 (N=61)

「はい」→自社で KUG を実施された内容・効果、一斉帰宅抑制・施設内待機の実施の工夫について具体的にお聞かせください

●**備蓄品の確保**

- ・ 備蓄品準備、補充、更新
- ・ 三日分の備蓄品等の確保
- ・ 各フロアに備蓄品を配置
- ・ コンビニの食物を配布

●**待機場所の確保・対応体制づくり**

- ・ 従業員の属性ごとの待機場所の設定（機密レベルごと）
- ・ 施設内の待機場所までの動線を予め決めている。
- ・ 飲料水の提供、情報提供
- ・ サイボーズを活用しての連絡体制の確立

●**事業所内での訓練・研修・啓発**

- ・ 定期的な訓練を通して見直しや新たな取組みの検討
- ・ 年 1 回訓練実施
- ・ いのちを守る教育の実施（災害発生時の対応教育）
- ・ グループワークの導入
- ・ 新入社員研修への導入
- ・ アプリやリーフレットの紹介

Q 3 自社での一斉帰宅抑制・施設内待機の取組を進められるにあたって課題に感じられることはありますか。

はい : 49 いいえ : 2 どちらともいえない : 8 無回答 : 2 (N=61)

「はい」→課題に感じられている点はどのようなことですか

●社内・ビル内での周知・意識づくり、一斉帰宅抑制の普及啓発

- ・従業員への周知
- ・ビルの方針としての周知方法
- ・社員の意識を変える、または想像させることが難しい。
- ・人それぞれの考え方などがあり、全員に理解を求めるのは難しい。
- ・今回は同じ意識を持った担当者が集まっており、前向きな議論ができたが、自現場で対応できるのか不安
- ・施設内待機が可能となるように、多くの企業が備蓄を進めてもらえるよう普及啓発が必要だと感じた。

●訓練の実施

- ・毎年人の入れかわりがあるので、毎年訓練が必要である。
- ・訓練を実施する中で、そのつど検討を行っている。
- ・何度やってもリアリティのある訓練とならない。
- ・日常訓練の具体性の向上

●施設内待機のルール・マニュアル等の策定・検証

- ・いかに一斉帰宅抑制ができるか。
- ・一斉帰宅抑制をうまく伝えていけるか、施設内待機をどのようにしていくか、一度検証が必要
- ・施設での対応方法（マニュアルどおりに対応が可能かなど）
- ・施設内待機について、店舗従業員への対応を検証しておく必要があると考えている。
- ・地震の大きさにもよるので、時系列での問題点が想定できない。
- ・情報の収集（正しい情報）、入手方法
- ・自社雇用でない従業員にどこまで帰宅抑制を要請できるのか、従業員の数倍の来客がある中でどう対応するのか決めきれていない（備蓄品を用意できない）。
- ・来客への対応について、詳細が決まっていない。
- ・業種の関係から、来社想定人数が多いため自社では対応しきれない。

●各事象への判断・配慮

- ・帰宅許可を出す基準をどうするか。
- ・帰宅希望者への帰宅ルールを明確にする必要がある。
- ・個々の状況により対応することができるのか。
- ・帰宅させる場合の対応
- ・鉄道が停まっている時の帰宅ルートの確認
- ・配慮を要する人の優先順位
- ・青少年、外国人が多いこと
- ・従業員の全体把握、万が一の備え

●体制

- ・役割分担
- ・待機の体制が整っていない。
- ・冷静な対応、統率された指揮命令が大切であり、課題
- ・施設と対応人員不足

●施設内待機への準備（待機スペース、備蓄等）

- ・スペースの確認（不要品の処分など）
- ・オフィスフロア、備蓄品
- ・眠れるスペースの確保（マット等の確保）
- ・一斉帰宅抑制が長くなると、寝室等のスペースがないため困る。
- ・スペース確保及び防犯対策
- ・業種の特性上、女性の比率が圧倒的に高いので、性別ごとのスペース確保をどのようにしていくかが課題
- ・ゴミの保管場所や休憩する場所を検討しておく必要がある。
- ・空調が止まれば施設内待機が困難となる。
- ・備蓄が十分でない。
- ・簡易トイレなど備蓄品の購入が必要だが、費用の確保が課題
- ・アルミブランケット等の備えがない。
- ・トイレ対策が大変

●その他

- ・建物関係者以外の受入体制
- ・備蓄品を受入場所までどうやって運搬するか。
- ・帰宅困難者の受入れ
- ・受入れ人数の限界
- ・避難所の状況がリアルタイムで必要

Q 4 今後、帰宅困難者対策協議会でどのような訓練を実施したいか、その他、図上訓練全体に関して、ご意見・ご感想がありましたらお聞かせください。

[今後の訓練について]

- ・ 災害用備蓄品の取扱い方法について訓練を行ってほしい。
- ・ イベントごとに他の班の意見などを聞いてみたい。参考になる意見もあると思う。
- ・ ディスカッション形式での学びもとても良いが、ある程度のガイドラインを映像などで示してほしい。
- ・ ごみ保管場所など答えがあれば教えてほしい
- ・ 鉄道各社の計画運休が一般的となり、大震災以外で帰宅困難者の発生は少なくなっていると思うので、今後は大震災に特化した対応をお願いしたい。
- ・ 高層ビルのテナントではなく、管理会社としての図上訓練も必要ではないか。
- ・ 他社、他団体の取組みを知りたい。
- ・ 毎回同様の設定となっているので、図上訓練の内容を変化させてほしい。
- ・ 今後も異なる想定により、訓練を行ってほしいと思う。

[図上訓練全体についてのご感想]

- ・ 具体的に起こりうる問題点が把握できた。
- ・ 日常からの備えをしっかりとしておくことが必要であると思った。
- ・ 当社内でも帰宅困難者発生時の訓練を行う必要を感じた。
- ・ いろいろな意見が聞けて、自社にも取り入れたいと思った。また参加したい。
- ・ 他事業者の方と意見交換ができ、いろいろと参考になった。
- ・ 他事業者の方と対話ができ、とても有意義だった。
- ・ 短時間で多くのディスカッションができ、頭の体操になった。同様の訓練を繰り返し、精度を上げていきたい。
- ・ 大変有意義な訓練であった。
- ・ とても良かった。座学よりイメージできて、勉強になった。生かしていきたいと思う。
- ・ 勉強になった。
- ・ 電子データがほしい。
- ・ 本日行った情報を広く市民へ知らせてほしい。
- ・ ホールで声が聞きづらかった。
- ・ 冒頭、マイクの声が聞き取りにくかった。